

安倍政権の暴走と対決

くらしの声を県政に生かす

日本共産党 県会議員

安藤 はるみ

1952年生まれ。保育士を10年勤める。弘前市議3期、県議2期。党中央委員。憲法9条つがる女性の会代表。核燃だまっちゃおられん津軽の会副代表。弘前市清原在住。家族は夫・房治（弘前大学名誉教授）、4男。HP <http://ando-harumi.com/>

演説会

3月28日(土) 午後～
弘前市文化センター
お話：市田忠義 党副委員長



アベノミクスSTOP!、憲法9条をまもる。暴走ストップのたたかいはこれから

総選挙で8→21議席に

躍進した力で、がんばります!

- 格差拡大のアベノミクスSTOP!。くらし第一に転換し、TPPから撤退を。
- 消費税10%は先送りではなくキッパリ中止を!
- 集団的自衛権行使の容認ノー。憲法をまもりぬく。
- 原発・核燃やめ、再生可能エネルギーに転換へ。

力をあわせ、くらし守り、地域再生を!

- 子ども医療費の無料化を中学校まで。保育料の軽減を
学校への冷暖房導入計画を。少人数学級を小学4年以上・中学2年以上に拡充。
- 生活密着型事業で、仕事・雇用をふやす
住宅リフォーム助成制度の改善、中小企業の支援策を強める。特養ホーム増設はじめ福祉・防災・教育の分野で雇用を拡大へ。最低賃金は時給1000円に。
- 「農協解体」許さず、農林漁業を支える責任果たす
米価暴落対策、地産地消の促進を。後継者へ県独自に月15万円の支援制度創設を。
- 医療・福祉・介護一切り捨てから充実へ
「要支援」はずしなど社会保障切捨てから県民をまもる。介護保険報酬引き下げをやめさせ、介護福祉施設の整備など安心できる介護制度を。国保税・介護保険料の負担軽減へ市町村を支援。
- 学生・高校生への奨学金制度、若い世代の定住支援を
県独自の給付型の奨学金を創設。低家賃住宅など若い世代を応援し地域の活力を。



重点予算要望20項目を青山副知事に手渡す、すわ県議、安藤県議、松田・三八地区政策委員長（右から、12月24日）。

財源は...

ためこみ金の活用（財政調整用の基金）..... 282億円
議員の海外視察中止や政務調査費・報酬削減で 毎年1億円

要求あるところに駆けつけ、政治を動かす



党弘前市議団と

町会や弘前の3人の市議団と連携して、生活相談・地域の願いの実現に行動しています。

いちばん身近な議員
「どんな相談にも一生懸命動いてくれる」...地域からこんな声が寄せられています。

●安藤議員が提案してきた福祉事務所・児童相談所への福祉専門職員が今春から配置に。妊婦の風疹を防ぐワクチンで「助成は考えていない」という県を動かす、市町村への助成が実現しました。

子どもの未来のために
福祉専門職の導入、風疹ワクチン助成

福島福島の被災地調査して
「原発ゼロ」を迫るとともに、大震災の間接被害事業者への支援を提言。サポート資金が300億円に拡大され、一七〇七件、310億円の融資（2014年末）がすすんでいます。

●豪雪対策で国会交渉...
どんな問題でもまっさきにかっつけ、現場の声で県政を動かしています。

弘前で唯一の女性県議
米価暴落から農家をまもる緊急対策を提言。融資や利子補給が実る。
ひょう害の現場を調査し、農業代補助・加工への支援を求める。
一人親家庭の就労支援、生活困窮世帯の子どもへの学習支援に動く。

コメとリンゴ、くらしをまもる